

「災害時の生活支援と地域連携」

自然災害及び大規模な集団災害においては、被災地に迅速に駆けつけ救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チーム（DMAT）が派遣されます。

一方で、罹災した高齢者や障害者、子どものほか、傷病者等といった地域の災害時要配慮者が、避難所等において、長期間の避難生活を余儀なくされ、必要な支援が不十分な結果、生活機能の低下や要介護度の重度化などの二次被害が生じているケースもあるようです。これらの方々が、避難生活終了後、安定的な日常生活へと円滑に移行するためには、避難生活の早期の段階から、その福祉ニーズを的確に把握するとともに、可能な限りそのニーズに対応し、生活機能の維持を支援することが求められています。

今回は、北海道医療センター救急科の方々にファシリテーターを務めていただき、実際に災害が起きたと想定して各参加者がグループ内で役割を持ちディスカッションします。札幌市医師会西区支部会員の皆さまはじめ、通常定例会へご参加の皆さまへ広くご案内申し上げます。

- 日 時 : 平成 31 年 2 月 14 日（木） 18 : 30（開場 18 : 00）
会 場 : 西区民センター3階 大ホール（西区琴似 2 条 7 丁目）
申 込 : 不要
参加費 : 無料 ・ 当日直接会場へお越しください

～プログラム～

- 開会挨拶 : 札幌市医師会西区支部支部長 嵐方之先生
講 演 : 北海道医療センター 救急科 七戸康夫先生
グループワーク
まとめ
閉会挨拶 : 西区在宅ケア連絡会

主催 : 札幌市医師会西区支部・西区在宅ケア連絡会